

- 問1 高知県ではなすの生産が盛んですが、東京市場におけるなすの卸売価格が「夏に安く、冬から春に高い」という傾向がある中で、高知県が冬から春に出荷を集中させている理由として、最も適切な説明はどれですか。 （2020年 奈良県公立入試 類似）

1. 高知県の冬の寒冷な気候を利用して、時間をかけてゆっくりと育てることで、なすの品質を向上させるため

2. 黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かし、他の産地からの出荷が少ない高価格な時期を狙って収益を上げるため

3. 夏は台風の被害を受けやすいため、あえて価格の安い冬から春の時期に生産時期をずらして安定供給を図るため

4. 冬から春はなすの需要が大幅に減少するため、供給量を増やすことで市場価格をさらに下げ、消費を拡大させるため
- 問2 香川県高松市を含む瀬戸内地域では、他の地域に比べて年間の降水量が少なく、古くから農業用水を確保するために「ため池」が多く作られました。このように降水量が少なくなる地理的な理由として、最も適切な説明はどれですか。 （2026年 高知県公立入試 類似）

1. 太平洋側から吹き込む夏の季節風が、四国山地を越える際にフェーン現象を引き起こして気温が急上昇するため

2. 対馬海流の影響を強く受け、年間を通じて高気圧に覆われる日が多く、上昇気流が発生しにくいいため

3. 北側の中国山地と南側の四国山地によって、夏と冬それぞれの季節風が運ぶ湿った空気がさえぎられるため

4. 冬の北西の季節風が非常に強いものの、日本海側で水分をすべて放出した後の冷たく乾燥した空気が直接流れ込むため
- 問3 1998年度から2016年度にかけての、四国と中国・京阪神方面を結ぶ交通機関の利用者数の変化について、統計上の傾向を正しく説明しているものはどれですか。 （2019年 熊本県公立入試 類似）

1. 船舶の利用者が大幅に増えたことで、瀬戸内海の定期船航路が拡大された。

2. 高速バスと自動車の利用が増加する一方で、船舶の利用者は大幅に減少した。

3. 全ての交通機関において、利用者が一律に増加する傾向が見られた。

4. 鉄道と航空機の利用が増加したため、自動車の通行台数は減少した。
- 問4 厳島神社は平安時代末期に平清盛の厚い信仰を受け、現在のような大規模な社殿が整えられました。この神社に見られる、当時の貴族の邸宅様式を取り入れた建築様式を何といいますか。 （2026年 島根県公立入試 類似）

1. 武家造

2. 寝殿造

3. 書院造

4. 校倉造
- 問5 本州西部の中国地方を東西に貫くように位置し、鳥取県や島根県側の山陰地方と、岡山県や広島県側の山陽地方の気候を分ける境界となっている山地の名称を答えなさい。 （2019年 福島県公立入試 類似）

1. 奥羽山脈

2. 四国山地

3. 鈴鹿山脈

4. 中国山地
- 問6 広島県の農業産出額の構成において、畜産（約23%）や果実（約16%）、米（約13%）を上回り、全体の約4割近くという最も高い割合を占めている品目は何ですか。 （2017年 富山県公立入試 類似）

1. 野菜

2. 米

3. 畜産

4. 果実
- 問7 中国地方の島根県において、その地理的条件を活かした産業の特徴を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 （2021年 東京都公立入試 類似）

1. 山間部での畜産業が県内最大の産業であり、沿岸部には海外からの原料を輸入するためのアルミニウム精錬所が並んでいる。

2. 内陸部の盆地を中心にさくらんぼなどの果樹栽培が盛んで、沿岸部のリアス海岸では真珠の養殖が行われている。

3. 広大な平野部で大規模な機械化による稲作が行われ、沿岸部には大規模な石油化学コンビナートが形成されている。

4. 沿岸部では漁港の周辺で水産加工業が発達しており、砂丘地ではぶどうやなしなどの果樹栽培が行われている。
- 問8 高松市などの瀬戸内沿岸地域において、年間を通じて降水量が少なくなる主な要因として、地形と風の関係から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 （2020年 島根県公立入試 類似）

1. 梅雨の時期に停滞する前線の影響を、四国山地が防ぐことで雨雲が発達しにくいため。

2. 一年中安定して吹く偏西風が、中国山地と四国山地の間を通り抜ける際に乾燥するため。

3. 北側の中国山地と南側の四国山地が、それぞれ冬と夏の季節風による湿った空気を遮るため。

4. 黒潮などの暖流の影響により、季節風が吹き込む際に雲が消滅しやすい地形だから。
- 問9 四国地方における交通網の整備とその影響について述べた次の文のうち、1985年から2015年の交通手段別利用者数の推移から読み取れる状況として、歴史的背景をふまえて正しいものはどれですか。 （2020年 鳥取県公立入試 類似）

1. 橋の開通によって船舶の利用価値が見直され、自動車と船舶を併用する利用者が2015年にかけて倍増した

2. 瀬戸大橋の開通によって鉄道の利便性が飛躍的に高まったため、2015年時点では鉄道が最大のシェアを占めている

3. 航空機の大増大と空港の整備が進んだ結果、自動車を上回るペースで航空機の利用者数が推移している

4. 本州四国連絡橋の開通によって自動車の利用が飛躍的に伸びた一方で、鉄道の利用割合は減少傾向にある
- 問10 本州の最西端に位置する県の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれか。この県は中国地方に属し、特産品のふぐや、石灰岩が地表に露出したカルスト地形で知られる秋吉台がある。 （2024年 沖縄県公立入試 類似）

1. 岡山県は、温暖な気候を利用したマスカットや桃の栽培が盛んで、倉敷の美観地区がある。

2. 福岡県は、九州地方の交通の要所であり、博多織や明太子の生産が盛んである。

3. 山口県は、錦帯橋や秋芳洞などの観光資源が豊富で、伝統工芸品の赤間すずりも有名である。

4. 広島県は、瀬戸内海沿岸でカキの養殖が盛んであり、平和記念公園があることで知られる。
- 問11 広島県にある厳島神社の社殿が、陸地ではなくわざわざ潮の満ち引きがある海上の区域に建てられた理由として、最も関連の深い背景を選びなさい。 （2016年 和歌山県公立入試 類似）

1. 当時の瀬戸内海では水軍の勢力が強く、軍事拠点としての機能を高めるために海上を占拠したため。

2. 木造建築の腐食を防ぐために、常に海水で床下を洗浄できる構造が望まれたため。

3. 宮島そのものが神体として崇められており、神聖な土地を削ったり傷つけたりすることを避けるため。

4. 大陸からの使者を迎える際、船から直接参拝できるように利便性を追求した結果であるため。
- 問12 広島県の工業において、製造品出荷額の36.2%を「機械工業」が占めている背景や理由として、適切な説明はどれですか。 （2020年 千葉県公立入試 類似）

1. 高速道路沿いにIC（集積回路）を生産する電子部品工場が集中しているため

2. 広大な農地を活かした食料品加工業が県の全域で発達しているため。

3. 自動車の製造や造船などの加工組立型産業が集積しているため。

4. 石油化学コンビナートが集中し、プラスチックなどの生産が最大であるため。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かし、他の産地からの出荷が少ない高価格な時期を狙って収益を上げるため	高知県は黒潮（日本海流）の影響で冬でも温暖な気候に恵まれています。この気候条件を活かし、ビニールハウスなどを用いた「促成栽培」によって、本来の収穫時期よりも早い冬から春になすを出荷しています。市場では供給が減るこの時期に卸売価格が高騰するため、そのタイミングを狙って出荷することで、農業経営の安定と高収益化を実現しています。
問2	答え 3 北側の中国山地と南側の四国山地によって、夏と冬それぞれの季節風が運ぶ湿った空気がさえぎられるため	瀬戸内の気候の最大の特徴は、二つの山地に挟まれているという地形にあります。夏は太平洋からの湿った季節風が四国山地に、冬は日本海からの湿った季節風が中国山地にそれぞれ遮られます。風が山を越える際に斜面で雨や雪を降らせるため、山を越えて瀬戸内側に吹き下ろす空気は乾燥します。これにより、年間を通じて降水量が少なく、晴天の日が多い温暖な気候となります。
問3	答え 2 高速バスと自動車の利用が増加する一方で、船舶の利用者は大幅に減少した。	本州四国連絡橋（神戸・鳴門ルート、児島・坂出ルート、尾道・今治ルート）の整備により、陸路による移動の利便性が飛躍的に向上しました。1998年度から2016年度の統計数値を比較すると、高速バスの利用者は約176万人から452万人へ、自動車の通行台数は約833万台から1454万台へと大きく伸びています。その一方で、それまで移動の主役であったフェリーなどの船舶は、約708万人から187万人へと激減しており、鉄道や航空機も減少傾向にあります。
問4	答え 2 寝殿造	厳島神社の社殿は、平安時代の貴族の住宅様式である「寝殿造（しんでんづくり）」を神社建築に応用したものです。平清盛が平家一門の氏神として崇敬し、莫大な援助を行ったことで、雅な貴族文化を反映した美しい景観が形作られました。書院造は室町時代以降の武士の住宅様式、校倉造は東大寺正倉院などの倉庫に見られる様式です。
問5	答え 4 中国山地	中国地方の中央部を東西に走るこの山地は、比較的なだらかな山々が連なっているのが特徴です。この山地が障壁となることで、日本海側と瀬戸内側で異なる気候特性が生じます。
問6	答え 1 野菜	広島県は広島市などの大消費地を抱えていることから、新鮮さが求められる農産物を供給する近郊農業が発達しています。統計資料によると、農業産出額に占める野菜の割合は38.6%に達しており、畜産や果実、米を抑えて最も主要な生産品目となっているのが特徴です。
問7	答え 4 沿岸部では漁港の周辺で水産加工業が発達しており、砂丘地ではぶどうやなしなどの果樹栽培が行われている。	島根県は日本海に面しており、豊富な水産資源を背景に漁港周辺での水産加工業が伝統的に盛んです。また、沿岸部に広がる砂丘地は水はけが良いという特性を持っており、これを利用してぶどうやなしなどの果樹栽培が行われています。工業面においては、沿岸部に鉄鋼業、内陸部には輸送に有利な電気機械工業が立地している点が特徴です。選択肢にある「盆地でのさくらんぼ」は山形県、「真珠の養殖」は三重県などの特徴であり、島根県の実情とは異なります。
問8	答え 3 北側の中国山地と南側の四国山地が、それぞれ冬と夏の季節風による湿った空気を遮るため。	瀬戸内地方は、北側に中国山地、南側に四国山地が位置しています。夏は太平洋側からの湿った季節風が四国山地に遮られ、冬は日本海側からの湿った季節風が中国山地に遮られます。それぞれの山地で雨や雪を降らせた後の乾燥した空気が瀬戸内側に流れ込むため、年間を通じて降水量が少なくなります。
問9	答え 4 本州四国連絡橋の開通によって自動車の利用が飛躍的に伸びた一方で、鉄道の利用割合は減少傾向にある	本州四国連絡橋（瀬戸大橋）には鉄道も通っていますが、統計上、最も顕著な伸びを示したのは自動車です。橋の開通により、時間や場所の制約が少ない自動車（高速バスや自家用車）が普及したため、相対的に鉄道や船舶の利用割合は低下しました。特に船舶は、橋の開通によって多くの定期航路が廃止・縮小に追い込まれるなどの影響を受けています。
問10	答え 3 山口県は、錦帯橋や秋芳洞などの観光資源が豊富で、伝統工芸品の赤間すずりも有名である。	山口県は本州の最西端、中国地方の西部に位置しています。日本最大級のカルスト台地である秋吉台や、その地下に広がる鍾乳洞の秋芳洞、さらに岩国市の錦帯橋や、城下町として知られる萩の町なみなど、多くの名所があります。下関市のふぐや、伝統工芸品の赤間すずりも山口県を象徴する特色です。
問11	答え 3 宮島そのものが神体として崇められており、神聖な土地を削ったり傷つけたりすることを避けるため。	古くから宮島（厳島）は島全体が神として崇拝される「神体山」のような存在でした。そのため、神聖な陸地に直接柱を立てたり建物を建てたりすることを恐れ、海上に社殿を築いたとされています。これは自然崇拝の考え方が建築の形態に大きく影響を与えた事例といえます。
問12	答え 3 自動車の製造や造船などの加工組立型産業が集積しているため。	瀬戸内工業地域は、沿岸部の埋め立て地を利用して鉄鋼や石油化学などの重化学工業が発展しましたが、広島県においては特に「加工組立型」の性質が強い自動車産業や造船業が発達しています。そのため、製造品出荷額等の構成においても、金属や化学を抑えて機械工業の割合が高くなっているのが特徴です。